

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅳ（脳神経・眼科・耳鼻科系） 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	岩崎正重・児島辰哉・大岩和博・武林悟	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>解剖生理で学んだ脳神経・眼科・耳鼻科系の知識を臨床実践に結び付け統合し、特有の疾患を理解する。脳神経・眼科・耳鼻科系の器官が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起する。その後、その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか学び、損なわれた機能の回復や失われた機能を補てんするにはどうすればよいか、治療や援助につなげる根拠を知る。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳神経・眼科・耳鼻科系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解する。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 脳神経系の構造と機能 1) 神経系のなりたち 2) 症状とその病態生理 3) 中枢神経系・末梢神経系	講義	(岩崎)
2回目	4) 検査・診断と治療・処置	講義	(岩崎)
3回目	2. 疾患の理解 1) 脳血管障害	講義	(岩崎)
4回目	2) 脳腫瘍	講義	(岩崎)
5回目	2) 脳腫瘍	講義	(岩崎)
6回目	3) 外傷・その他の疾患	講義	(岩崎)
7回目	3. 大脳機能局所在論	講義	(児島)
8回目	4. 疾患の理解 1) 筋疾患・神経筋接合部疾患	講義	(児島)
9回目	2) 神経筋接合部疾患	講義	(児島)
10回目	3) 脳・神経系の感染症 4) 中毒	講義	(児島)
11回目	5) てんかん 6) 認知症	講義	(児島)
12回目	5. 眼球疾患とその治療 1) 症状とその病態生理 ①視機能に関連した症状	講義	(大岩)
13回目	2) 疾患の理解 ①機能障害 ②部位別疾患 ③外傷 ④全身疾患との関連	講義	(大岩)
14回目	6. 耳鼻咽喉頭・頸部の疾患とその治療 1) 症状とその病態生理 ①難聴 ②嗅覚障害	講義	(武林)
15回目	2) 疾患の理解 ①耳疾患 ②鼻疾患 ③口腔・咽喉疾患 ④気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害	講義	(武林)
評価方法	終了試験 筆記 100% : 岩崎 (40%) 児島 (30%) 大岩 (15%) 武林(15%)		
受講生に対するメッセージ	3 領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点数をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳神経 医学書院 系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 医学書院		
参考書			